

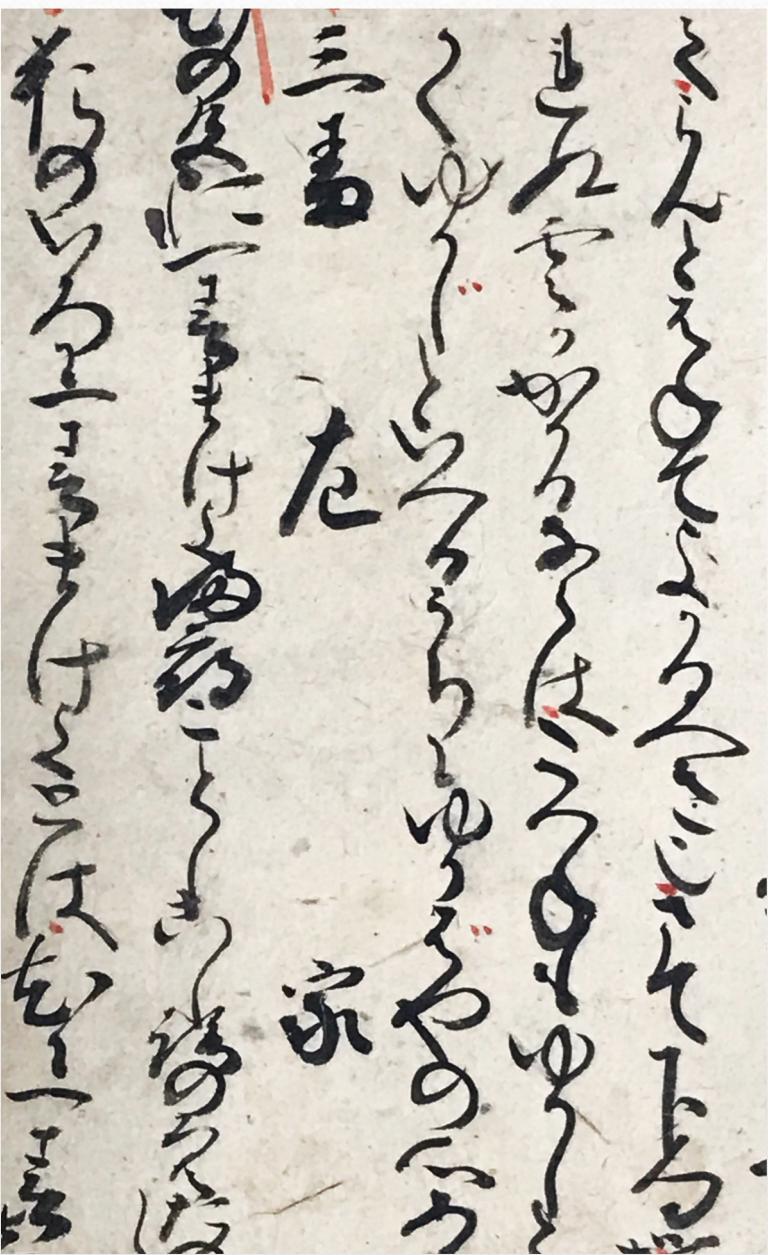
濁音を探せ！

「仮名文献の

濁点の歴史」

総合文化研究科 超域文化科学専攻
比較文学比較文化分野 博士課程

佐藤 嘉惟



① 自己紹介

研究の領域

- ・能楽研究
- ・能の歴史と「文字」の関わり

・能楽..「写本」上演?

・音楽..「樂譜」—演奏 のように

趣味

- ・古い本を眺める。(買う)

① レクチャーアの指針

「写本の姿に

親しむための一歩」

目的

- 濁音を手掛かりに、現代と違う“文字文化”について知る

目標

- 濁音の表記の特徴について、仮名文字の体系との関わりから説明できる
- 濁音の歴史的な表記法を、三つ以上挙げられる

② 濁音だけでも重要

言葉の判定や

解釈を変える

言葉の判定を変える

×「おー」めく」

○「おーこめく」

歴史的な濁点の付け間違え

参照：白石（一〇一〇）

解釈を変える

×「しほる」（絞る）

○「しほる」（露る）

和歌の解釈の更新

参照：岩佐（一〇一〇）

③ 濁音を仮名で書く

「濁音専用の字は
今は存在しない」

仮名文字の体系における濁音

音

清音

か き く け こ
さ し す せ そ
た ち つ て と
は ひ ふ へ ほ

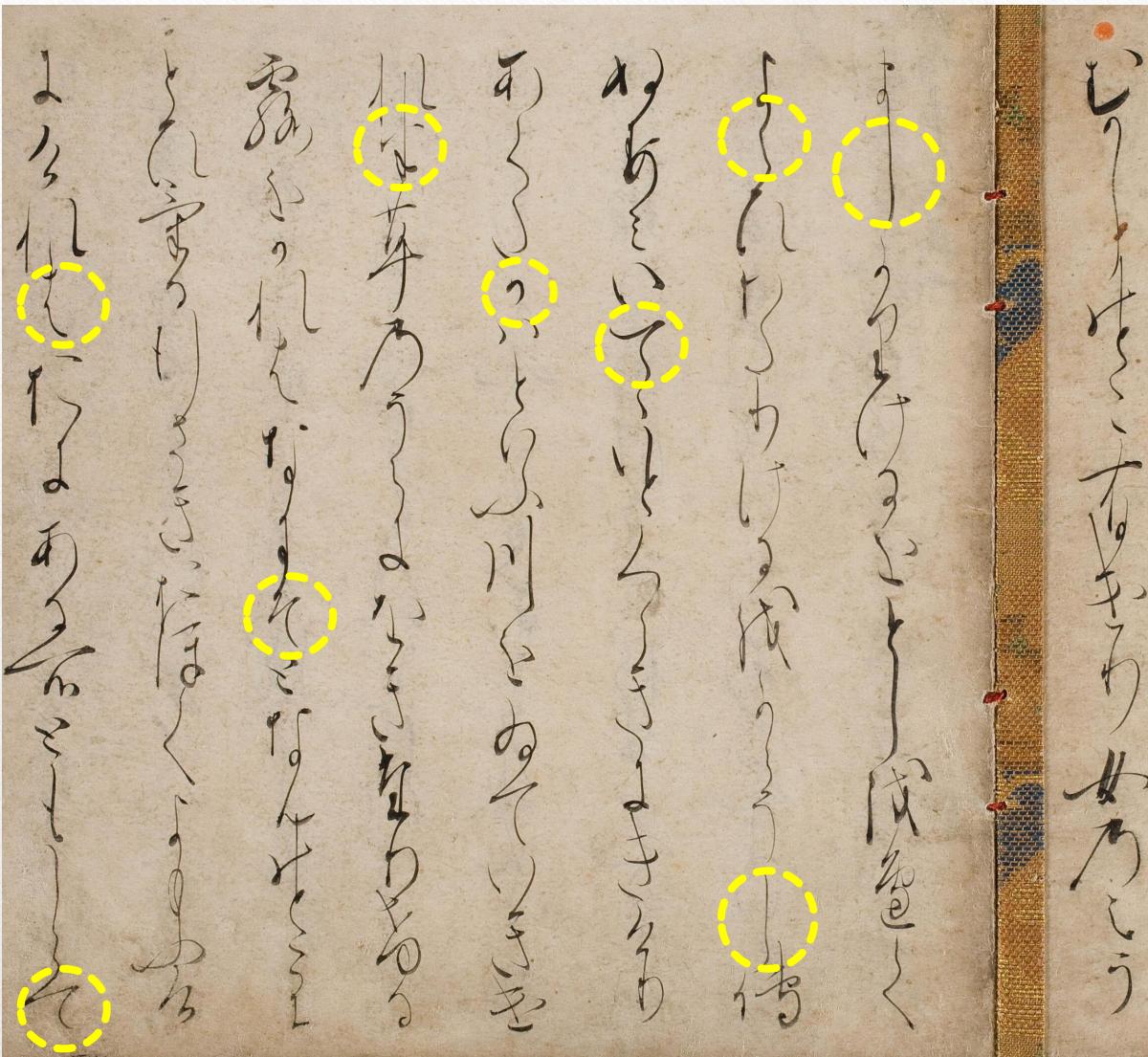
濁音

ば だ ざ が ぎ
び ぢ じ づ ぐ
ぶ づ づ ぜ げ
べ で ぜ ぞ ご
ぼ ど ぞ ご

清・濁を文字上で区別できない
濁点という補助記号なしには

④ 歴史的表記 その一

「濁点を打たない」



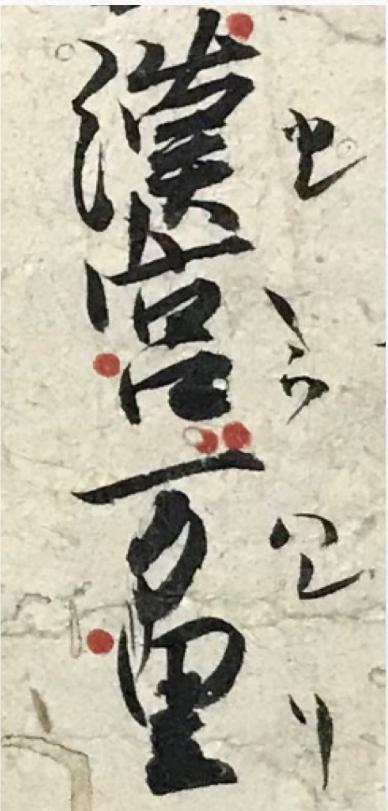
⑤ 歴史的表記 その二

寺院生まれの

濁声点（だくしようてん）

出発は経典の正しい音読

- ・梵語→漢語→日本語の表記へ拡張



鎌倉期写 和漢朗詠集切（架蔵）

- ・印1個＝声点（じょうてん）
- ・印2個＝濁声点（だくじょうてん）